

「令和6年度環境測定分析統一精度管理ブロック会議」開催要領

1. 目 的

環境省が実施した令和5年度環境測定分析統一精度管理調査結果の評価や精度管理の問題点を議論することにより、地方公共団体が設置する試験研究機関等の環境測定分析業務の信頼性の確保と分析精度の向上を図ることを目的として開催する。

2. 主 催

全国環境研協議会（精度管理部会）
環境省水・大気環境局環境管理課

3. 参加者

全国環境研協議会所属機関の環境測定分析に従事する職員
地方公共団体において環境行政に従事する職員で参加を希望する者等

4. 開催時期・方法

令和6年度ブロック会議（令和5年度調査結果説明）の日程は全国環境研協議会（精度管理部会）並びに各ブロックの幹事と調整の上、決定する（8月から10月頃までを想定）。開催場所は例年どおり5ブロックで開催するが、対面またはWeb会議を併用したハイブリッド形式とする。講師は対面か、各所在地からWebで参加し、ブロックを構成する参加者、環境省及び日本環境衛生センターは、それぞれのブロックの取り決めに従って参加する。Web会議室は日本環境衛生センターが設置する。

- (1) 北海道・東北ブロック（幹事：岩手県環境保健研究センター）
- (2) 関東・甲信・静ブロック（幹事：群馬県衛生環境研究所）
- (3) 東海・近畿・北陸ブロック（幹事：愛知県環境調査センター）
- (4) 中国・四国ブロック（幹事：鳥取県衛生環境研究所）
- (5) 九州ブロック（幹事：福岡市保健環境研究所）

5. 会議の内容

概略を各共通試料担当の講師が説明し（30分程度、質疑応答を含む）を行なうことを基本とするが、議事や構成の詳細は各ブロックの要望に従う。

各共通試料担当講師の調整は、ブロック会議の日程が確定次第行う。調査結果等に関する事前の質問がブロック会議参加者からあった場合には、該当する講師等が回答を作成したものを、会議における資料とする。

次頁に進行シナリオの例を示す。

議事概要

事項	時間	担当機関
1. 開催の挨拶	5 分	開催機関 環境省水・大気環境局環境管理課
2. 令和5年度環境測定分析統一精度管理調査結果について	30 分	日本環境衛生センターから調査結果の概要報告
3. 環境測定分析における留意点及び精度管理について (1)模擬水質試料(一般項目等) 質疑応答1 (2)模擬土壌(溶出試験)(一般項目等) 質疑応答2 (3)模擬水質試料(揮発性有機化合物) 質疑応答3	90 分	講師3名による調査結果の報告(試料ごとに10分質疑応答を含む)。分析上の問題点、分析結果に影響する因子等について重点的に解説。
4. 意見交換	30 分	
5. 次期開催機関からの挨拶	5 分	次期開催機関
6. 閉会の挨拶	5 分	開催機関

(備考)

1. 議事の作成、進行は開催機関が行う。
2. 開催時間は、全体で2時間半程度を想定。
3. 開催に当たっては、都道府県、政令指定都市の環境行政担当部局からも参加者を募集する。
4. 上記は、ブロック独自の講演等を実施しない例である。独自の講演等を実施する場合には、上記に追加する又は表中のいずれかの講演と替えことも可能とする。

6. その他

会議の庶務は、日本環境衛生センターが行う。